

1. 各介護保険事業の状況

(1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特別養護老人ホーム %	92.4	90.7	90.5	91.9	91.5	87.3	87.9	88.8	90.7	89.9	89.2	92.3	90.3
ショートステイ %	159.3	156.8	195.0	175.8	187.4	188.3	207.1	187.0	171.0	154.5	145.4	165.2	174.6
特養/SS合計 %	98.1	96.4	99.5	99.2	99.8	96.0	98.2	97.2	97.6	95.5	94.1	98.6	97.5
デイサービス (一般) 平均人数/日	37.8	36.5	37.0	34.9	36.2	35.3	36.3	36.8	36.2	20.0	28.5	31.7	34.1
デイサービス (認知) 平均人数/日	7.3	7.6	7.9	7.3	7.8	7.2	7.2	6.3	5.8	3.1	5.3	6.1	6.6
デイサービス (合計) 平均人数/日	45.1	44.1	44.9	42.2	44.0	42.5	43.5	43.1	42.0	23.1	33.8	37.8	40.7
居宅 ケアプラン 件	106	103	101	107	107	105	104	101	94	94	90	90	1212
包括 予防プラン 件	407	396	405	399	384	378	381	386	382	377	364	371	4,630

(2) 特別養護老人ホーム／介護老人福祉施設の利用状況 (定員 106 名)

年間利用床数は34,924床(95.7床/1日)でした。入退所の状況は、新規入所者が40人(昨年比137.9%)、退所者も40人(昨年比142.9%)でした。令和4年3月31日時点の平均年齢は、男性が83.5歳(昨年比+1.3歳)、女性が88.2歳(昨年比+0.1歳)で、最高年齢は106歳(女性)です。また、平均要介護度は3.69で、要介護3以上の入所者が全体の89.0%(昨年比+0.8%)でした。「看取り介護」は29人(昨年比170.6%)実施しました。

(3) ショートステイ／短期入所生活介護の利用状況 (定員 10 名)

年間利用人数は6,371人、年間稼働率は174.6%でした。昨年より805人、稼働率で22.1%増加しています。令和3年度も引き続きコロナ禍の影響はありましたが、ショートステイの稼働は増加しました。困難事例も含めて積極的に受け入れ、利用ニーズに最大限対応しました。

(4) デイサービス／通所介護事業の利用状況 (定員一般 50 名、認知 22 名)

年間利用延べ人数は12,582人(13,510人)。1日平均利用人数は一般デイ34.1人(35.1人)、認知症デイ6.6人(9.1人)、合計40.7人(44.2)でした。※カッコ内は昨年度の人数。

コロナ感染症により延べ15日間営業休止、利用控えや新規契約を見合わせる等の影響もあり、利用人数が大きく減少しました。

感染予防を徹底しながら営業を続けた一年でした。感染予防の一環として外部の来荘を制限したために、ボランティアによる活動と交流が出来ませんでした。その為に趣味活動は例年通りの活動を行う事が出来ませんでした。季節感を味わう行事等は感染予防に配慮しながら、職員のみで規模を縮小して開催しました。

(5) 居宅介護支援事業

ケアマネジャー3名（主任ケアマネジャー1名）の体制で運営しています。特定事業所加算Ⅲを継続して算定しています。ケアプラン数は介護予防を含めて1カ月平均で101件お受けすることが出来ました。

特定事業所加算Ⅲの算定に伴い、営業時間外も24時間連絡可能な体制としています。また、週1回程度事業所内で会議を実施することで地域ケアマネジメントの質の向上に努めています。研修については、外部研修への参加に加え、他法人との合同事例検討会も開催することで制度理解や専門性を高めるよう努めています。また、高齢者あんしんセンターとの連携によって困難事例の対応や相談支援業務も行っています。

2. 北区委託事業

(1) 高齢者あんしんセンター事業（地域包括支援センター）

高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)事業を北区より平成20年4月に受託してから14年が経過しました。圏域の高齢者人口は約6,445人、高齢化率は39.9%、後期高齢化率は25.4%、区内でも非常に高い数字となっています。地域活動としては、自治会、シニアクラブ、民生委員の方々との連携強化に努めております。そのほか、地域へのアウトリーチの一環として、赤羽台UR団地出張相談窓口を週1回開催、自治会が行うサロン活動へのサポート、ふれあい交流サロン（園芸サロン）の開催など積極的に展開しています。さらに地域への認知症周知活動として、小学校・中学校での特別授業も実施しており、地域で高齢者の方が安心して生活できるような環境作りにも取り組んでいます。また、地域公益活動として、桐ヶ丘商店街の中に「桐ヶ丘サロンあかしや」を、他の社会福祉法人と共同運営しています。

(2) 高齢者住宅事業

現在高齢者住宅2棟、計50戸に対して、各棟1人の生活援助員（LSA）を配置しています。高齢者住宅2棟の生活援助員による活動状況は、訪問334件、警報機対応28件、家事援助0件、不在対応0件、相談0件、その他209件でした。また、その他は、介護援助要素の強い方の呼び出しや対応、住宅供給公社、北区等との調整事項です。なお、生活援助員はコミュニティー支援、ケース会議にも参加しています。

(3) 北区認知症高齢者一時保護事業

北区内での迷子老人の保護施設として事業参画して11年目になりました。令和3年度は、2件で13日間の保護実績となりました。